

入札及び契約調書

| | |
|--------|--------------------|
| 工事等の名称 | 小峰城跡(搦手門跡東側)石垣修復工事 |
| 担当課名 | 都市計画課 |
| 入札執行日 | 令和4年6月30日 |
| 入札場所 | 白河市役所 本庁舎 202会議室 |

1 入札調書

(単位:円)

| 工事等の番号 | 指名した者の商号又は名称 | 入札金額(税抜き) | | 指名した理由 | 予定価格(税抜き) | 落札者の商号又は名称 | 落札金額(税込み) |
|---------|------------------------------|------------|-----|--|------------|--------------------------|------------|
| | | 第1回 | 第2回 | | | | |
| 第34110号 | 福島県南土建工業 株式会社 代表取締役 小野 利廣 | 17,500,000 | | 一般的な工事であることから、登録業者名簿から施工可能な市内の業者を指名する。 | 17,749,000 | 株式会社 鈴木建設 代表取締役 鈴木 清次 | 18,920,000 |
| | 株式会社 佐久間組 代表取締役 佐久間 哲男 | 17,400,000 | | | | | |
| | 株式会社 鈴木建設 代表取締役 鈴木 清次 | 17,200,000 | | | | | |
| | 株式会社 兼子組 代表取締役 兼子 聡 | 17,700,000 | | | | | |
| | 株式会社 松本工務店 代表取締役 松本 義則 | 17,500,000 | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

【記載上の注意】

- 1 「予定価格」は、消費税抜きの金額で記載
- 2 「入札金額」は、入札者が見積もった契約希望金額(消費税抜きの金額)で記載
- 3 「落札金額」は、入札者が見積もった契約希望金額の100の110に相当する金額(消費税込みの金額)で記載

2 契約調書

(単位:円)

| 契約日 | 種別 | 契約の相手方の 商号又は名称及 住 所 | 契約金額 | 工 期 | | 工事等の場所 | 工 事 等 概 要 | 随意契約を行った場合 における選定理由 | |
|------------|--------|---------------------------|-------------------------|-----------------------|--------------|-----------|---|---|--|
| | | | | 着 手 年 月 日 | 完 成 年 月 日 | | | | |
| 令和4年7月4日 | 一般土木工事 | 株式会社 鈴木建設 代表取締役 鈴木 清次 | 18,920,000 | 令和4年7月4日 | 令和4年10月27日 | 白河市 郭内 地内 | 石垣解体工 A=5.1㎡、石垣撤去工 A=3.8㎡、石垣復旧工 A=8.9㎡ | | |
| 変更契約日 | | | 変更金額 | 変更後の工期 | | 工事等の場所 | 工 事 等 概 要 | 変 更 理 由 | |
| 令和4年10月21日 | | | 1,332,100 (20252100) | 令和4年7月4日 | 令和5年1月31日 | | 石垣解体工 A=5.1㎡、石垣撤去工 A=3.8㎡、石垣復旧工 A=8.9㎡、支障木伐採工N=1式 | 修復範囲の石垣解体後、復旧予定の石垣背面側には大きな切り株の根が張りめぐらされているのが発覚し、石垣復旧の支障となることから、重機撤去による石垣崩落拡大を防ぐため、人力にて除根を2箇所実施する。 また、石垣の積上げ積下しに使用するラフタークレーンの旋回範囲で支障となる立木を10本伐採処分する。 上記の増工に加え、石垣解体後、修復範囲の石垣の背面側には新たな別の石垣が発見され、この文化財検出調査及び修復の施工検討に約3か月の日数を要したことから、本工事の完成期日を令和5年1月31日に延長とする。 | |
| 変更契約日 | | | 変更金額 | 変更後の工期 | | 工事等の場所 | 工 事 等 概 要 | 変 更 理 由 | |
| 令和5年1月17日 | | | | 355,300 (20607400) | 変更なし | | | 石垣解体工 A=8.3㎡、石垣撤去工 A=3.8㎡、石垣復旧工 A=13.7㎡、支障木伐採工N=1式 | 石垣解体後、復旧範囲最下段の根石が沈下による前倒れが発覚したため、根石部分の6石も石垣解体・修復工としてA=3.2㎡の増とする。また、根石前面部分は今回の復旧に併せて史跡発掘調査(トレンチ掘削)を実施しており、単純に土で戻しても根石が再度、前倒れするため、対策として新材10石を利用し、前押さえ工A=3.6㎡増とする。以上等から、石垣の積面積を精査して合計4.8㎡を増工し、A=13.7㎡とする。 石垣修復にあたり、1㎡分の石材購入費を当初計上していたが、解体後の石材配置計画により、購入材を利用せず「積み構造の安定と見栄えを確保した石垣となるため、新材の利用を削除とする。 その他を精査し、工事金額を355,300円増の20,607,400円とする。 |
| 変更契約日 | | | 変更金額 | 変更後の工期 | | 工事等の場所 | 工 事 等 概 要 | 変 更 理 由 | |
| | | | | | | | | | |
| 変更契約日 | | | 変更金額 | 変更後の工期 | | 工事等の場所 | 工 事 等 概 要 | 変 更 理 由 | |
| | | | | | | | | | |

【記載上の注意】 「変更金額」は、当初契約額との増減額を記載し、()内には変更後の契約額を記載する。